

令和八年度 前期日程
入学者選抜学力検査問題
国 語

〔注意〕

- 1 机上に受験票を提示しておくこと。
- 2 監督者の指示があるまで、この冊子を開いてはいけない。
- 3 解答は必ず別紙の解答用紙の指定された箇所記入すること。
- 4 解答用紙に受験番号・氏名を必ず記入すること。受験番号・氏名が記載されていない答案は無効となる場合がある。
- 5 この冊子の問題は余白を含めて十ページ、解答用紙は一枚からなっている。
- 6 この冊子のうちに落丁・乱丁、印刷不鮮明な箇所があれば、手をあげて申し出ること。
- 7 この問題の内容に関する質問には答えない。
- 8 この問題の満点は一〇〇点である。文学部日本・中国文化学科は四〇〇点に、文学部国際文化交流学科・歴史学科・社会科学部および農学食科学部和食文化科学科Aは二〇〇点に換算する。
- 9 字数制限のある解答では、句読点や括弧なども字数に含める。
- 10 試験時間中の退出は認めない。
- 11 問題は持ち帰ること。

一

次の文章をよく読んで、後の問いに答えよ。なお、設問の都合で文章の一部を省略し、表記を改めたところがある。(40点)

(著作権の関係で不掲載)

(著作権の関係で不掲載)

(著作権の関係で不掲載)

(著作権の関係で不掲載)

(岡本裕一朗『フランス現代思想史』による)

(注) ○イグノーベル賞……ノーベル賞のパロディとしてアメリカで創設された賞。「人々を笑わせ、考えさせる研究」に対して授与される。時に皮肉を込めて授与されることもある。 ○ジャン・ブリクモン……ベルギーの物理学者。 ○ラカン……ジャック・ラカン。フランスの精神分析学者。 ○ドゥルーズ……ジル・ドゥルーズ。フランスの哲学者。 ○デリダ……ジャック・デリダ。フランスの哲学者。 ○脱構築……ここでは、「古い構造を解体し、リセットする」という程度の意。

問一 傍線部 ① ～ ⑧ について、カタカナは楷書の漢字に改め、漢字はそのよみをひらがなで記せ。

問二 空欄 A・B について、

(1) 空欄 A に入れるのに最も適切な本文中の語句を、二字で記せ。

(2) 空欄 B に入れるのに最も適切な語句を、以下の a～e の中から一つ選べ。

- a 学問否定 b 叱咤^た激励 c 降伏勧告 d 問題提起 e 公開質問

問三 傍線部 I とあるが、なぜ「ソーシャル事件」という一事件の経過のみによってそのようなことが「分かった」と言えるのか。一〇〇字程度でわかりやすく説明せよ。

問四 傍線部 II について、筆者はどうすることが必要だと考えているか。本文中の表現を用いて四〇字以内で記せ。

問五 傍線部 III について、これは何をたとえたものか。本文の内容に即して七〇字程度でわかりやすく説明せよ。

(余
白)

次の文章をよく読んで、後の問いに答えよ。(30点)

今は昔、柏原の帝の御時に平の宮造らせ給ひけるあひだ、長岡の宮より時々行幸して、新しく造らるる都を御覽するに、とばかりおはしますに、羅城門の辺にて御輿を止めて、匠を召して仰せられけるやう、「いとよく門は建てたり。ただし、長なむいま一尺切るべき。風はやき所にひとつ屋にて建てたれば、風のために危ふきなり。風は、長いま少し勝り劣るに随ひて防がるることなれば、所の地の体に随ひて長の程は建つるを、この頃の匠はそれをえ知らで屋を建つれば、この門いま一尺切れ。さらばよかりなむ」と召して仰せられて、内に入らせ給ひて、長岡の宮に帰らせ給ひぬ。

さて造りはてて、都遷り近くなりて、行幸して御覽ず。はじめのごとく羅城門の前に御輿を止めて御覽するに、瓦葺きに白土みな塗りはてたり。ことごとくにみなしはてて、金物ばかり打たざりける。匠召して仰せらるるやう、「我ははじめ悪しく見て、一尺切れと仰せてけり。一尺五寸ぞ切らすべかりける。いま五寸切るべし。なほ高く見ゆる」と仰せられければ、匠、にはかに臥しまろび、怖ぢ感じて、さま悪しく震ふやうにすれば、あやしと思しめして「いかにするぞ」と問はせ給へば、匠の申すやう、「この門の長は元の門の様に建て合はせ候ふを、一尺切れと仰せられしが、仰せのままに切りては無下に低くまかりなりなむ。遠く見上ぐるに、高やかにて候ふこそ、さらさらに候へ。かかる離れ屋の、平に見えれば見苦しく候ひぬべしと思ひ候ひて、五寸を切りて候ふなり。それにいま五寸と仰せ候へば、はじめ御覽しそこなひたるには候はず。五寸かだみて切り候はず」と申す。帝「かしこく見てけり。毀ち切らば、都遷りの日近くなりて、え合はせじ。さらば、せであるばかり。ただし、風にやともすれば吹き倒されむ」と仰せごとありければ、匠の申すやう、「いみじく強く作りて候ふものなり。長五寸切り候ひぬれば、さらに危ふきこと候はじ」となむ申しけり。

さて都遷りの後、末の世に至るまで、三度ばかり吹き倒されたりければ、帝の御覽じたることかなひにたり。いみじうおはしましけり。物の上手となむ申し伝へたる。さてさて、円融院の御時、大風にまた吹き倒されにけり。その後は作りたることなし。

(注) ○柏原の帝……桓武天皇。 ○平の宮……平安京。 ○長岡の宮……長岡京。 ○羅城門……平安京の南の正門。 ○長
……高さ。 ○一尺……約三〇・三センチ。一尺は一〇寸。 ○金物……金具。 ○元の門の様……計画当初の門の形式。
○かだみて……ごまかして。

問一 傍線部 ア、ウ を、文脈を考えながら、現代語訳せよ。

問二 二重傍線部 I について、「それ」の具体的な内容がわかるように現代語訳せよ。

問三 二重傍線部 II について、匠がこのように反応した理由を、八〇字程度で具体的に説明せよ。

問四 二重傍線部 III について、

- (1) 文脈を考えながら、現代語訳せよ。
- (2) 筆者は誰のどのような点をこのように評価しているのか、本文の内容をふまえて、わかりやすく説明せよ。

(注) ○漢天文志……『漢書』天文志。 ○蜃氣象樓台……蜃氣樓が現れる。 ○庚寅……元朝の至元二七(一二九〇)年。 ○家
 僮……めしつかい。 ○父老……長老。 ○穎川主人……人物の呼称。 ○聚遠樓……樓閣の名。 ○轟……高くそびえる
 こと。 ○疊巘……重なる峰。 ○碎岫……険しい峰。 ○隱見……隠れることと現れること。 ○台榭……たかどの。
 ○衆大之区……多くの人々が住む広大な区域。 ○浮囿老子之宮……仏教や道教の寺。 ○三門……寺院の門。 ○簷牙
 ……軒に突き出た垂木。 ○公輪……人名。 公輪盤のこと。 春秋時代の魯国の工匠。 ○甕盎……かめと鉢。 ○詭異……
 不思議なさま。 ○晡……夕方。 ○冉冉……だんだんと。 ○筆談……筆記などの著作。 ○登州……地名。 現在の山東
 省に属す。 ○海市……蜃気楼。 ○阿房……秦の始皇帝が築いた宮殿。 阿房宮。 ○章華……楚の離宮。 章華台。 ○銅
 雀……三国魏の曹操が築いた台。 銅雀台。 ○臨春、結綺……南朝陳の後主が築いた樓閣。 臨春閣と結綺閣。 ○突兀
 ……高く突き出るさま。

問一 波線部 ① ④ の読みを、現代仮名遣いにより、送りがなも含めてすべてひらがなで記せ。

問二 傍線部 A について、

- (1) 現代仮名遣いにより、すべてひらがなで書き下し文に改めよ。
- (2) 現代語訳せよ。

問三 傍線部 B を言葉を補ってわかりやすく現代語訳せよ。

問四 傍線部 C について、

- (1) 現代語訳せよ。
- (2) このように言うのはなぜか。簡潔に説明せよ。